

第一回観光・公共交通円卓会議

開催日時：平成 23 年 10 月 13 日 13：30～14：40

開催場所：みなまた環境テクノセンター 2 階大研修室

司会：鎌田係長

配布資料：

1. 事前送付（各自持参）資料

- 式次第
- 環境モデル都市推進委員会・環境モデル都市推進本部会・専門委員名簿
- 円卓会議有識者名簿
- これまでの環境モデル都市推進委員会及び円卓会議の内容について
- みなまた環境まちづくり研究会報告書（解説）＜参照資料 1＞
- みなまた環境まちづくり推進事業体制図＜参照資料 2＞
 - ・ 円卓会議での検討内容
 - ・ ゼロ・ウェイスト円卓会議
 - ・ 環境にやさしい暮らし円卓会議
 - ・ 観光と公共交通円卓会議＜参照資料 3＞
 - ・ 環境大学・環境教育円卓会議

2. 当日配布資料

- 観光と公共交通円卓会議メンバー一覧＜参照資料 4＞
- 水俣地域の観光資源の棚卸しシート＜参照資料 5＞

会議内容：

1. 厚地部長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 議題

(ア) これまでの取り組みについて（担当：松木課長補佐、参照資料 1）

(イ) 観光・公共交通円卓会議について（担当：古里部次長、参照資料 2・3）

(ウ) 観光・公共交通円卓会議の進め方について（担当：柿本主幹、参照資料 4）

- 基本的には、コアメンバーも分科会ごとに分けて進めて行く
 - 所属分科会以外の分科会への参加は、オブザーバーとして参加
 - 既存所属分科会以外の分科会への所属の追加・変更に関する希望は事務局にて対応する
 - 会議の案内は、分科会に関係なく全員に通知する
 - コアメンバーは、所属分科会の会議に極力参加してほしい
4. 観光棚卸シートの記入のお願い（担当：柿本主幹、参照資料 5）

次回の会議に持参、もしくは、それまでに F A X 等で返信事務局宛に送信
 5. 質疑応答
 6. 川野課長の閉会あいさつ

質疑応答の内容

質問者	質問内容	回答者	回答内容
坂本 龍虹氏	・街づくりの統一基本理念、目指すのは何か、をみんなで持つことが大事であるが、基本理念は何か？ ・目指す目標に対する“土俵”も明確にする必要が有るが、“土俵”は何か？（土俵の例：水俣病の教訓を活かす）	古里 部次長	・基本理念は、環境・活力・コミュニケーションである ・水俣病の教訓に関しては、円卓会議の中でメンバーの皆様より提案をいただきながら議論をしていきたい
坂本 龍虹氏	・人がいっぱい来ればいい、金がいっぱい入ればいいという街づくりの方針はよくない。 ・JNCはあくまでも一企業である。共生することに異論はないが、JNCを軸足にした街づくりには異論がある。 ・自律性をもって進めて行く必要があると考える	松木 課長 補佐	・JNCに頼るだけでなく、もっとパイを大きくしていかなければならない。 ・JNCに代わる、水俣市の稼ぎ頭となる産業として、医療福祉産業や、その他のサービス産業がある。 ・（JNCが高付加価値製品の製造へ移行し、以前ほど多く雇用を生んでいないことを指摘し）野球でたとえると、JNCが圧倒的な4番バッターではなくなった今、全員野球でヒットとバントで点数を入れていく必要がある。 ・一方で、企業連関図（平成23年度みなまた環境まちづくり研究会報告書の図表2-9を表示）を見ると、JNCとのつながり（取引関係）を持つ企業はまだまだある。今年度は、市内企業の産業連関表を作成することで、JNCを含めた企業間のつながり（取引関係）をより詳細に明らかにし、JNC以外の企業間の連携も強めることで、他の分野でも産業や雇用を創出して市全体のパイを大きくしていきたい。
平田 智士氏	・公共交通にみなくなるバスの話が出てこないが、みなくなるバスについてもルート変更等、検討する必要があるのではないか	川野 課長	・当円卓会議に先行して、企画課にて、これまでの市民の意見を反映する形で、ルートの見直し、乗合タクシーやスクールバスの運行等、みなくなるバスの全体的な見直しを現在行っている。 ・当円卓会議にて頂いた意見を、現在進行中の見直しに反映させることは難しい。11月に関係する地域を回って見直し案について説明をするので、その場で意見を伺い、それを反映する予定である。 ・分科会の開催時期が間に合えば、見直し案の概要を説明したい。

以上